

# 令和6年度 下都賀地区 栃木支部研修報告

会長所属校	栃木市立岩舟小学校	研修担当所属校	栃木市立岩舟中学校	会員数	46名
支部の研修テーマ及び地域の現状や特色					
<p>栃木市は共同学校事務室設置から5年目を迎え、より安定した質の高い事務体制の確立、小中一貫教育の推進、若手事務職員の支援等を継続して行っています。共同学校事務室が充実期に入り安定してきたことから、栃木市学校事務研究会と共同学校事務室、この2つの組織が連携を図りながらも、それぞれの組織の目的の違いが明確となる活動ができるような課題を検討しました。そこで、栃木市学校事務研究会の課題は『「業務改善」と「資質向上」についての研究』と設定し、下記の2つを研修の柱として取り組んできました。</p> <p>1 業務改善            (1)各分野における「班別研修」を行い、事務マニュアル、事務改善の研修成果を共同学校事務室の業務へ引き継ぐことを目指す。            2 資質向上            (1)「講話研修」「体験発表」により、職務遂行上必要な知識を習得し、資質の向上に努める。            (2)「事例研修」を行い、全会員が共通の事務処理の知識を習得し、それぞれの職場に活かす。</p>					
研 修 日 等	研 修 会 の 主 な 内 容				研修会主催者
<b>【第1回】</b> 5月10日(金) 会場：国府公民館 時間：13:30～15:20	①今年度の研修概要について ②講話研修「児童手当に係わる学校給食費等の徴収について」 栃木市子ども未来部子育て総務課地域子育て係 係長 高橋 裕和 様 主任 田中 聡志 様 ③事例研修「児童手当に係わる給食費等の徴収事務処理について」 栃木市立南小学校 主任 五十嵐 翼				市事研
<b>【第2回】</b> 7月26日(金) 会場：国府公民館 時間：13:15～16:30	① 組織マネジメント研修 ステージⅡ(職務能力拡充期) 栃木市立寺尾中学校 主任 金澤 有紀 栃木市立寺尾小学校 主事 谷川 いずみ				市事研
<b>【第3回】</b> 1月18日(木) 会場：皆川公民館 時間：13:30～15:30	① 体験発表 演題「経験年数5年未満の事務職員としての取組」 栃木市立赤麻小学校 主任 熊倉 勝也 ② 事例研修 ・市定例監査報告                      ・県事務局監査報告 ・共同訪問報告                        ・県事研ステージⅢ研修報告(紙面) ③ その他の事例研修 ・電車通勤認定の事務処理について ・傷休・休職の事務処理について ・単身赴任手当の事務処理について				市事研
研 修 成 果 と 課 題					
<p>今年度から、年3回の全体研修会を開催することになりました。5月の全体研修会では栃木市子育て総務課と連携し、講話研修を行いました。今年度10月から児童手当の大きな変更が予定されるという情報を伺うことができ、実務につながる重要な講話を聞くことができたことはとてもありがたく、さらに知識を深める研修を行うことができました。また実際に児童手当を学校集金の未納分として充当している学校の事務処理を聞くことで、集金未納対策の一つの手段として学ぶことができ、会員一人一人のスキルアップに繋がりました。</p> <p>7月は「自分の学校を知ろう」のテーマのもと、今後学校を導いていくミドルリーダ層をターゲットとして、ワークショップ形式の研修を行いました。自分の学校の資料室が煩雑であったことに気づいた若手事務職員が、教頭・共同実施のリーダーから「違う発見を違う視点で」とアドバイスを受け、改善に取り組むという事例を、自分の学校に置き換え、自分たちはどう考えるかを付箋紙に書き出しました。中堅層・5年目の若手事務職員が講師となり、それぞれの立場からどのように学校経営マネジメントに係わっているのか、様々な職階の目線で話し合い、課題解決に向けて取り組むことができました。</p> <p>1月の研修では、経験年数5年未満の事務職員に本校での取り組みについて発表をしていただきました。年数を経るごとに、自分の周りを客観的に見ることができるようになり、自分の学校をよくするために「学校を変えよう」と思い、様々なアイデアを提案しました。発表者と校内教職員との関係性、周りの学校事務職員との連携により、成長していく姿が見られました。</p> <p>今年度より、従来の研修回数から1回研修を減らしました。研修回数を減らした分は、より身近な共同学校事務室で研修の補完をする形をとり、会員の不安解消を図りました。7月、1月の研修会では、経験の浅い事務職員が、自分の取組を自信をもって発表できる場、事務職員同士がコミュニケーションを図り相互理解ができる場を提供し、個々の自信につなげていくような研修を進めてきました。今後も研修をとおして学校事務職員の専門力を高めていきたいと考えています。栃木市学校事務研究会ではベテラン事務職員が責任を持って若手事務職員を育ててきた歴史があります。伝統を引き継ぎ、学び合い、それぞれの学校が質の高い教育を実現していくために、お互いが切磋琢磨し、安定した学校事務を提供できるようなサポートをしていきたいと考えています。</p>					

